

約50年前に開発された藤沢の高級分譲地

「片瀬山住宅地」の魅力をもとく

三井のリハウス藤沢センター

建築協定によって守られる良好な住環境

「片瀬山」といえば、高級住宅地のイメージがあります。小高い丘に続く美しい街並み。ゆったりとした敷地のおしゃれな家々がステキな雰囲気を出しています。



Back



富士見坂から見える富士山

片瀬山5丁目には「富士見坂」があり、眼下に鵜沼海岸から茅ヶ崎、大磯まで、青い海と白い波、そして陸地と、曲線を描いた三重線が見え、名前のとおり、富士山が箱根の山々の後ろにそびえる様子は圧巻の眺めです。この景色が気に入って、片瀬山に住み始める人も多く、朝夕に眺める風景

は格別のようなです。

片瀬山住宅地の歴史をひもとくと、約50年前にさかのぼります。1967（昭和42）年、三井不動産が片瀬山丘陵地帯にあったゴルフ場跡地を利用して完成までに10年を費やして開発した分譲地です。

この分譲地は敷地面積が70〜100坪以上あります。当時は子どもの教育のために、東京から移り住む人が多数いたそうです。また、藤沢駅周辺の区画整理が始まり、商業施設へと移行した時期でした。そこで、店舗兼住宅を藤沢駅近くに持っていた人が、住まいを片瀬山に構える例もありました。

1971年7月には湘南モノレールが全線開通。渋滞しがちな藤沢までのバスルート以外に、大船駅へのアクセスが誕生し、大変喜ばれたそうです。

に関する協定と申し合わせがあります。1区画の敷地面積は50坪以上。アパート、マンションは建築しない。建物の階数は2階まで。などと定められています。この取り決めにより、良好な住環境が守られています。

■土地の細分化、密集化を防ぐ取り決め
片瀬山住宅地には建築

中古住宅に集まる注目

「三井のリハウス藤沢センター」所長の古村一樹さんによると「半世紀の歴史を持つ片瀬山住宅地ですが、その魅力は色あせることがありません。住民意識も高く、比較的治安が良い地域ともいわれています。最近はいわゆるリモートワークの普及もあり、洪水や津波の心配がない点も人気で、片瀬山の中古住宅に注目が集

まり、都内からの移住希望も増えています。同住宅地についての問い合わせは左記へ。



お問い合わせ

TEL 0120-399-031

三井のリハウス 藤沢センター
藤沢市南藤沢 3-12
クリオ藤沢駅前 4階